

# みやぎ地域づくり交流会

2013年6月15日

発行

みやぎ地域づくり交流会



## きずな通信 No. 9

事務局  
宮城公民館内



地域づくりは人づくり、ふるさとづくり

毎年恒例となつた  
荒砥川自然満喫会が、  
6月9日(日)だけの「タワー東  
駐車場を出発点として荒砥川  
沿いのウォーキングコースを中  
心に行われました。

今年は、梅雨入りが例年より  
早く天候が心配されていまし  
たが、当日は晴天に恵まれ、地  
区内外から集まつた約100名の  
参加者が新緑の荒砥川の自然  
を満喫しました。



花に囲まれてウォーキング！

荒  
砥  
川

河

川



おいしそうな天ぷら～

毎年恒例となつた  
荒砥川自然満喫会が、  
6月9日(日)だけの「タワー東  
駐車場を出発点として荒砥川  
沿いのウォーキングコースを中  
心に行われました。

散策終了後は、今年も河川  
敷で恒例の山野草の天ぷらが  
振舞われました。回を重ねる  
と参加者も野草の味を覚えて  
いて『これはうまいんだよね』と  
いう声も聞こえるようになり  
ました。初めて参加した地区的  
の女性は『雑草がこんなにおい  
しいとは思わなかつた』と話  
していました。

また、今年もフラワーパー  
クの協力を得て園内を散策さ  
せていただき、きれいに咲いた  
バラを眺めながらのウォーキ  
ングとなりとても楽しめまし  
た。

6月1日、今年度第一回目の荒  
砥川美化運動が行われまし  
た。



除草作業の様子

今回は自然満喫会に備え、ウ  
ォーキングコースに沿って、草  
刈りやゴミ拾いが中心に行わ  
れました。関係者以外の参加  
者が少ないのがちょっと残念で  
したが、私たちが住む地域の河川  
がきれいになり、いつでも散策  
ができるように理解をいたただ  
き、今後行われる美化運動に  
は多くの皆さん�参加くださ  
ることをお願いいたします。

最後には、昨年に引き続き  
広報委員が撮影編集した一年  
間の活動ダイジェストの映像  
が上映され、充実した有意義  
な報告会となりました。



宮城中生徒による発表

平成24年度

地区内報告会  
開催される

去る3月23日、みやぎ地域  
づくり交流会の平成24年度地  
区内報告会が宮城公民館で行  
われ、三部会の部会長が一年  
間の活動実績をスライドを用  
いて説明しました。また今年度  
は、ぐんまスクール・オブ・ザ  
イヤーの優秀賞に輝いた宮城  
中学校の生徒によるボランティ  
ア活動の実践発表も行われ、  
寸劇をまじえたその素晴らしい  
発表に参加者一同は大変感  
心していました。

荒砥川を美しく



今年もやります！！

## 地域づくり交流フェスタ 2013

日時：6月23日(日) 9:30~16:00

場所：前橋市総合福祉会館

みやぎ地区も参加し、活動発表、パネル展示や

『いいもんケーキ』を販売致します。

またその他にお子さんが楽しめるイベントが盛りだくさん。



とても元気になるイベントだと思います。日頃地域づくりに取り組む方も、地域での活動に興味がある方も、どなたでも大歓迎ですので、是非ご来場ください。

6月23日の交流フェスタに向けて各地区的代表者が集まり、会議を重ね、イベントの企画内容を検討したり各地区的地域を支える様々な取り組みやその苦労、面白さを話し合ってきました。



ふれあい交流部会  
自然文化交流部会  
福祉交流部会  
下記へメールにてご連絡いただきたいと  
思います。

会長 北爪 一郎  
副会長 高橋 洋一  
野口 光一

平成25年度役員紹介

広報委員会

委員長 上野美  
委員 大崎博之

権澤安之  
東吉秀樹  
阿久澤孝子



広報委員会では、今年度もきずな通信を年間4回発行予定しています。また昨年度作成した7つの町のキャラクターをより多くの皆様に親しんでいただけるようにしていただきたいと思いますので、「意見等あります」下記へメールにてご連絡いただきたいと

広報委員会 e-mail  
[michellpork@yahoo.co.jp](mailto:michellpork@yahoo.co.jp)

【宮城地区 石の伝説④】

大前田町の夜泣き石

大前田町世良田薬師の境内に凝灰岩の自然石がある。

この石は「大前田の夜泣き石」と呼ばれ、以前、内方沼北の田の畔にあつたが、30年ほど前の土地改良事業のとき、現地に移動したものである。

その昔、ある代の田の所有者が、耕作に邪魔になる「の石を、内方沼に転がり落としてしまった。ところが夜になると泣きながら少しずつ少しずつ沼から上がりてきて、幾度落としても元の位置に戻ってしまったところ。

そして、地域の人々はいつからか「夜泣き石」と呼び、子どもの夜泣き癖を治す願掛けの石とされ信仰された。

内方沼は土地改良事業時に埋め立てられ、当時の面影を偲ぶものはなにもない。しかし、夜泣き石には、今でもお神酒の入った竹筒が奉納されていることがあり、人々から信仰されている。

